

都道府県金融広報委員会 事務局員の活動紹介

今年も参加 キッズイベント

東京都金融広報委員会
佐藤 成子

当委員会では、去る8月、夏休みの子ども向けイベント『丸の内キッズジャンボリー』に参加し、おかね教室と情報ブースを運営しました。3日間で10万人以上を集めるこのイベントの参加も5回目となり、当委員会の夏の風物詩となっ

ています。

おかね教室で実施した『おこづかいゲーム』では、はじめて顔を合わせる子どもたちがチームを組み、海外旅行の実現に向け、仕事仕立てのゲームに取り組みます。そして目標資金を貯めたチームは、皆で相談しながらお金の使い道を決めるのです。私たち事務局員と金融広報アドバイザーは、手分けして各チームをサポートするので、いつの間にかチームの一員のよう

にゲームを楽しみ、一緒になって目標達成を喜びます。「働いてお金を得ることの大切さが分かった」、「チームで仲良くなれた」、「お父さんお母さんの苦労が分かった」との感想を聞くと、疲れも吹き飛びます。このほか、情報ブースにも大勢の子どもたち、保護者に立ち寄っていたいただき、「おかねクイズ」や「お札体験コーナー」を通じて、私たちの活動内容を発信することができました。

当イベントは、多くの子どもたちや保護者の方々と直接触れ合う

ことを通じて、私たちの活動の意義を再認識できる大事な場であると考えています。子どもたちのキラキラした笑顔に来年も出会えるよう、引き続きこのようなイベントを積極的に活用していきたいと考えられています。



キッズジャンボリーの『おかね教室』の様

広がる輪・ 広がる笑顔の 活動を

兵庫県金融広報委員会
石本 彰子

金融広報事務を担当して2年あまりになりますが、中でも『金融教育』は、お子さんから高齢者の方々まで、世代に合わせた内容が必要なこと、地道な継続が大切であることなどを感じています。ま

た、実践活動の実現には、周囲のみなさまのご協力が不可欠で、「連携」の重要性も感じています。そこで、地域のみなさまとコミュニケーションを図るきっかけとなればと思い、金融広報中央委員会（以下中央委）企画の新しいイベント『親子のためのおかね学習フェスタ』にエントリーしました。幸い実現の運びとなり、関係先のみなさまへ『本年度は、中央委と共催の子ども向け新しいイベントを実施します。よろしければ連携していただけませんか？』と働きかけることができま

した。それから4カ月。諸準備を進めるうち、多くの関係先から力強いご協力をいただきました。1つのきっかけから、厚かましくも、「お願い」を申し出てみた結果、関係先や中央委の方々と力を合わせることができたのです。そして当日を迎えました。手前味噌かも知れませんが、各プログラムとも満員で大盛況でした（合計約840人が来場されました）。子どもたちや保護者の方の楽しそうに一生懸命取り組んでいる姿に、これからの子どもたちの笑顔に繋がる活動を

続けようという気持ちを新たにしました。



左から兵庫県の小木曾係長、石本さん、兵庫県のマスコット“はばたん”（当委員会の丸山事務局長）、中央委の岡崎さん